

エコアクション21

環境活動レポート



Transportation for People and The Earth

(平成 19 年 9 月 21 日～平成 20 年 9 月 20 日)

アイエス運輸機工株式会社

アイエス運輸機工株式会社 環境方針

環境理念

アイエス運輸機工は、深刻化する大気汚染、地球温暖化、資源の枯渇などの地球環境問題に対応するため、輸送サービスの提供という事業活動から生じる環境負荷の低減を図るため、自主的・積極的に環境保全活動に取り組みます。

環境方針

1. 地球温暖化防止のため、二酸化炭素の排出量を削減します。
 - ① 運行車両の整備、省エネ運行、省エネ運転により、CO₂の削減に取り組めます。
 - ② 電気使用量の削減
2. 総排水量の削減を図ります。
 - ① 水道水使用量の削減
3. 廃棄物排出量削減のため、廃棄物の適正処理、リサイクルの推進を図ります。
4. 環境関連の法規制、業界の取り決め、地域との協定を順守します。
5. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。
6. この方針を全従業員に周知すると共に、全員参加で取り組みます。

平成19年10月21日

アイエス運輸機工株式会社

代表取締役社長

石井 剛



事業概要

1. 事業所及び代表者氏名

アイエス運輸機工株式会社 代表取締役 石崎 由則

2. 事業所所在地

本社営業所	滑川営業所
〒931-8304	〒936-0803
富山県富山市米田町一丁目1番9号	富山県滑川市栗山 3544

3. 環境管理責任者

石崎 和彦

4. 連絡先

本社営業所	滑川営業所
電話 : 076-437-5520	電話 : 076-471-2124
FAX : 076-437-5939	FAX : 076-471-2125
E-mail : k-tanikawa@izak.co.jp	

5. 事業内容

- ・産業廃棄物収集運搬業
- ・特別管理産業廃棄物収集運搬業
- ・一般廃棄物収集運搬業
- ・一般貨物自動車運送事業

6. 事業の規模

法人設立年月日 : 平成 60 年 4 月 20 日
資本金 : 1,000 万円
売上高 : 1,731,267,374 円
(平成 18 年 9 月 21 日～平成 19 年 9 月 20 日)
従業員数 : 96 名
事務所床面積 : 327.7 m²

7. 許可取得内容

① 産業廃棄物収集運搬業

富山市 : 積替え保管を含む

富山市以外 : 積替え保管を含まない

② 特別管理産業廃棄物収集運搬業

富山市 : 積替え保管を含む

富山市以外 : 積替え保管を含まない

③ 許可番号、許可地域、許可品目の詳細については「(特別管理) 産業廃棄物収集運搬業許可一覧表」参照

8. 施設等の状況

① 運搬車両については「アイエス運輸機工(株)車両一覧表」参照

② 積替え保管施設について

ア. 産業廃棄物の場合

保管場所の所在地	富山市米田町一丁目 74 番 9 号	富山市米田町一丁目 75 番 15
保管場所の面積	108.53 m ²	6.8 m ²
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず
保管量の上限	217.06 m ³	8.0 m ³
保管高さの上限	—	1.17m
保管場所の所在地	富山市米田町三丁目 74 番 123	富山市米田町三丁目 74 番 123
保管場所の面積	73.5 m ²	14.0 m ²
産業廃棄物の種類	燃え殻、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、動植物性残さ、金属くず、鉱さい、がれき類、ばいじん	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、がれき類
保管量の上限	198.45 m ³	37.8 m ³
保管高さの上限	—	—
保管場所の所在地	富山市米田町三丁目 74 番 123	富山市米田町三丁目 74 番 123
保管場所の面積	12.4 m ²	2.97 m ²
産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず
保管量の上限	32.36 m ³	7.75 m ³
保管高さの上限	—	—
保管場所の所在地	富山市米田町三丁目 74 番 123	
保管場所の面積	112.5 m ²	
産業廃棄物の種類	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ	
保管量の上限	303.75 m ³	
保管高さの上限	—	

イ. 特別管理産業廃棄物の場合

保管場所の所在地	富山市米田町3丁目74番123	富山市米田町3丁目74番123
保管場所の面積	200 m ²	15.37 m ²
産業廃棄物の種類	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、鉱さい、ばいじん	感染性産業廃棄物
保管量の上限	540 m ³	0.576 m ³
保管高さの上限	—	—

9. 産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物収集運搬（処理）実績

年間 191,114 t

10. 産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物収集運搬（処理）料金

届出運賃表を基準とした契約運賃

環境目標とその実績

項目	単位	2005 年度		2006 年度		2007 年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績
電気使用量	kwh	—	126,366	—	129,366	—	126,829
二酸化炭素 排出量	kg-CO2	—	5,784,364	—	6,560,110	—	6,429,754
一般廃棄物	kg	—	14,800	—	15,300	—	1,470
産廃廃棄物	kg	—	15,300	—	17,900	—	500
排水量	m ³	—	580	—	600	—	700
グリーン購入	万円	—	1	—	1	—	6

項目	単位	2008 年度		2009 年度		2010 年度	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績
電気使用量	kwh	124,292	123,853	123,024	—	121,756	—
二酸化炭素 排出量	kg-CO2	6,427,360	6,461,112	6,361,774	—	6,296,189	—
一般廃棄物	kg	1,103	1,114	1,029	—	882	—
産廃廃棄物	kg	495	414	490	—	485	—
排水量	m ³	665	500	644	—	630	—
グリーン購入	万円	6	11	6	—	7	—

環境活動計画

1. 二酸化炭素の削減、電力使用量の削減及び自動車燃料の削減

(1) 電力使用量の削減

- ・ 節電運動の展開
- ・ 不要照明の消灯
- ・ クールビズ運動（冷房 28℃、暖房 20℃）

(2) 自動車燃料の削減

- ・ アイドリングストップ
- ・ 急加速・急停車の防止
- ・ 冷暖房の控えめ使用
- ・ 燃費の良い車両の購入

2. 廃棄物削減 事業系一般廃棄物及び産業廃棄物の削減

(1) 一般廃棄物の削減

- ・ 裏紙の再使用
- ・ ミスコピーの防止
- ・ 分別による古紙のリサイクル化
- ・ 帳票見直しによる印刷物の削減

(2) 産業廃棄物の削減

- ・ 社内での再使用
- ・ 分別回収

3. 節水 水使用量の削減

- ・節水の徹底（節水呼びかけ、節水弁取り付け、自動水栓取り付け）

4. 環境配慮製品の販売促進

- ・環境配慮製品のお客様へのPR活動

環境保全活動の取組と評価

No	実施項目	2008 年度目標値	目標達成度	評価
1	電力使用量の削減	2007 年度比-2% (124, 292kwh)	ほぼ達成 123, 853kwh	夏場のクールビズ運動のおかげでほぼ目標を達成できた。更に削減の努力を続けていきたい。
2	自動車燃料の使用の削減	2007 年度比-2% (2, 492, 170ℓ)	ほぼ達成 2, 448, 881ℓ	エコドライブ・アイドリングストップの徹底により目標を達成できた。更に削減の努力を続けていきたい。
3	事業系一般廃棄物の削減	2007 年度比-25% (1, 103 kg)	未達成 1, 114 kg	基準年度よりは量は減ったものの、まだ裏紙使用や古紙のリサイクル化が徹底されていないので、更に削減の努力を続けていきたい。
4	産業廃棄物の削減	2007 年度比-3% (495 kg)	達成 414 kg	社内での再使用並びに分別回収が徹底された結果、達成できた。更に削減の努力を続けていきたい。
5	水使用の削減	2007 年度比-5% (665 m ³)	達成 500 m ³	節水の呼びかけ、節水弁の取付けの効果もあり、目標を達成できた。更に削減の努力を続けていきたい。
6	環境配慮製品の販売促進	昨年同様の売上 (6 万円)	達成 11 万円	客先へのPR活動の成果もあって目標を達成できた。更に努力を続けていきたい。

代表者による全体の評価と見直し

1. エコアクション21に取り組むことにより、従業員の意識向上につながり、大変良かった。
2. 原材料費も高騰している中で、節約に努めることによりコスト削減、ひいては環境改善へとつながっていくことが良かった。
3. 今後も定期的に運用実績を見直しながら、更に上の取組みを目指していく。

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。また、関係当局よりの違反の指摘及び訴訟は過去3年間ありません。